（　石井　通春　議員　３－２）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 令和　５年１１月１３日　　８時３０分受理 | | 受付順位 | ２ |
| 発言順位 |  |
| **発　　言　　通　　告　　書**  　　藤枝市議会議長　　山根　一様  　　　　　　　　　　　　　　　　藤枝市議会議員　　　９番　石井通春  　　次のとおり通知します。 | | | |
| 発言の種類 | 代表質問　　　一般質問　　　緊急質問 | | |
| ２：標　題 | なんのために、市内4つの道の駅か  　　　　　　　　　　　答弁を求める者（　市　長　） | | |
| １：総事業費はいくらか  ①道の駅せとや  ②道の駅かりやど、  ２：利用者数の見込について  地形的利点として、富士山静岡空港、国一バイパス、新東名、など、陸海空に開けた広域アクセスが整備されている点を挙げているが、それによってどれだけの利用者数があると見込んでいるのか。  ３：北部地域の課題克服について  あらたに2か所新設する事によって、北部地域の課題、特に人口減少、少子高齢化の解決が図られるとしている。茶業や陶芸センター等観光施設、高田工業地区やバイパス4車線化などの要因があって、道の駅により高い効果が得られるとしているが、道の駅手法の中でどのような施設を作る事等で、この大きな難題が克服できるのか。  ４：地元説明について  全体構想が発表されたのが令和3年でありながら、既に両箇所とも造成工事が始まっている。  ①このわずかな間で、道の駅せとやについて、市民に対して、どれだけの説明を行ってきたのか。  ②また、道の駅かりやどはどうか。  ５：地元理解について  ①地元住民の努力により長年黒字経営を続けてきた（ゆらく、ちょっくら）せとやについては、指定管理を公募によって行う点  ②かりやどについては、道の駅構想そのものについて、地元の理解はどれだけ得られているのか。  ６：採算性について  （石井　通春　議員　３－３）  両駅とも、民間事業者のノウハウによって採算性が維持できるという、使い古されたフレーズが語られているが、全国多くの道の駅が赤字経営で苦しむ中、ただ民間手法というだけで採算性が維持できるのか。  ①道の駅せとや  ②道の駅かりやど | | | |

（※　内容は詳細に記入してください。）